

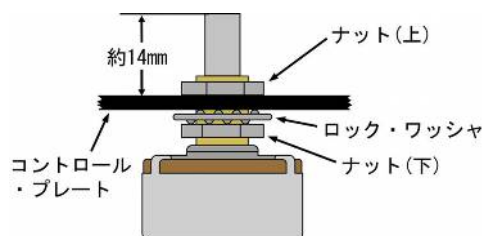
# SONIC QUALITY PRIMITIVE CIRCUIT FOR TEL STYLE

## 取付方法

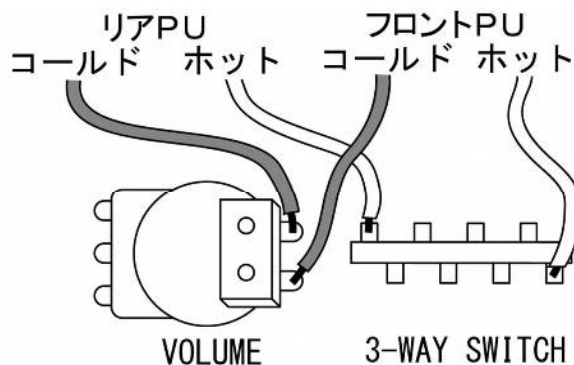
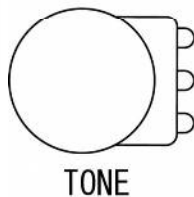
- ①コントロール・プレートをはずして裏返します。この時ボディに傷を付けないように、クロスなどを敷きます。
- ②基本的に元通りに配線する部分が多いので、念のためオリジナルの配線を記録しておきます。
- ③ジャック・ナットを緩めて、ジャック・プレートと一緒にはずします。
- ④各ピックアップからの線(合計4本)のハンダ付けをはずして、ジャックをジャック穴から抜き、ボディとコントロール・プレートを分離します。ジャックにはロック・ワッシャが付いていることがあるので、穴の中に残さないように注意してください。
- ⑤ボリューム、トーンとスイッチのノブをはずし、オリジナルのポット及びスイッチをコントロール・プレートから取り外します。
- ⑥日本製ギターなどで、コントロール・プレートの取付穴が小さい場合は、ポット穴を3/8インチ(約9.5mm)径、スイッチ止めネジ穴を3.5mm径に拡げます。金工用のドリルなどを使用してください。
- ⑦本製品の各パーツをコントロール・プレートに取り付けます。ポット・ナットは対辺1/2インチ(12.7mm)ですが、13mmのボックス・レンチも使用できます。ポットの端子部などがボディに干渉しないように、向きに注意してください(下図参照)。
- ⑧ノブ類は流用できますが、本製品はインチ仕様ですので、メトリック仕様のノブは取り付けられません。合わない場合は別途購入してください。
- ⑨本製品のジャックをロック・ワッシャを入れた状態でコントロール・キャビティ側からジャック穴に入れ、外側からジャック・プレートを取り付けます。ジャック・ナットも対辺1/2インチ(12.7mm)です。
- ⑩各ピックアップのコールド・ワイヤー(黒)はラグ板の端子(どちらでもOK)にハンダ付けします。
- ⑪各ピックアップのホット・ワイヤー(白)はスイッチの各端子にハンダ付けします(下図参照)。
- ⑫コントロール・プレートを元に戻します。この時、各ワイヤーをコントロール・プレートとボディの間に挟まないように気を付けてください。

## 注意

- 取り付けに自信がない場合は、販売店などにご相談ください。
- ハンダ付け作業で熱を加えすぎると、パーツが破損することがありますのでご注意ください。
- ギターによってジャック部の構造、ピックアップ配線材の色、アース配線の方法などが解説と異なる場合があります。



ポットをピックガードに取り付ける時には、上の図のようにナットとワッシャを使用して下さい。



株式会社ラムトリックカンパニー

<http://lumtric.com>

Phone 048-224-7915

Fax 048-224-7928